

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0590400230		
法人名	有限会社 祐康		
事業所名	グループホーム鮎乃里		
所在地	秋田県大館市櫃崎字大道下27-1		
自己評価作成日	平成29年3月10日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.akita-longlife.net/evaluation/">http://www.akita-longlife.net/evaluation/</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会		
所在地	秋田県秋田市下北手松崎字前谷地142-1		
訪問調査日	平成29年3月26日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

毎月外出、外食、調理師資格を持った経験豊富な職員と一緒に作る行事食
-----------------------------------

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

まもなく2年を迎える事業者ですが、法人の歴史は長く、グループホームの必要性を認識して開設された事業所です。ホーム内は清潔感に満ち、ホールは食堂テーブル、ソファを設置してもまだ十分な余裕があり、大型テレビを壁面に設置していることから更に空間が広がり、ホーム内の移動が利用者の機能低下防止の一助となっています。ソファでテレビ鑑賞する人、新聞を読む人等々、一人ひとりのペースが保たれ、ゆったりした環境の中で生活されているのが感じられます。
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~53で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
54 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	61 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
55 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	62 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 ○ 3. たまに 4. ほとんどない
56 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	63 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている ○ 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
57 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が ○ 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	64 職員は、生き生きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
58 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が ○ 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が ○ 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が ○ 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
60 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を共有し実践できている	利用者の立場に置き換えてどんなケアを受けたいかを職員が意見を出し合って理念が策定され、利用者と接する中で気付いたことや知り得た情報を共有して実践に繋げていけるよう努めています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	年に数回の交流	周辺に民家がなく、日常的な交流が難しいことから、公民館や文化祭等の地域の催し、保育園の行事に出かけて、交流できる機会をつくっています。	
3		○事業所の力を活かした地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している	民生委員の方たちと勉強会をしている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度開催。今年度から近隣の樫崎地区の民生委員の方にも参加してもらい、意見の交換などを行っている	会議は定期的開催され、民生委員の参加も得られていますが、参加者から意見が出されることが少なく、ホームの現状報告にとどまっており、会議が運営に活用されておりません。	会議内容を工夫して課題に応じたメンバーに参加を働きかけ、参加者の意見をサービスに具体的に活かしていくための取り組みと共に記録を詳細に残しておかれることを期待します。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議を有効活用し、高齢者福祉係りとも連絡をとるようにしている	利用者の紹介等があり、連絡を取り合っています。今後、ホーム運営により積極的に関わっていただくために連携を図り、協力が得られるよう取り組むことを検討されています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の研修会をおこない、ケアに取り組んでいる	介護現場での事例を基に研修を行い、職員が理解を深めていけるよう取り組まれています。言葉遣い等、業務中の気になる点に注意し、拘束のないケアに努めています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	利用者の声を聞き、職員一人ひとりの言動には注意をしている。何かあれば、その都度指導はしている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する研修会をおこない、必要時には関係者とも話し合いをしている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項の説明、契約内容の説明等、利用者や家族にわかりやすいように説明するようにこころがけている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時に要望等を聞き、改善、実施している	面会時に意見、要望を話していただけるよう努めて改善に繋げる取り組みをされ、ホーム便りを送付して利用者の生活状況を伝えていきます。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に一回のミーティングや必要時に意見を聞き改善、実施している	会議等で出される職員の意見を運営に反映させています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員に合わせた勤務形態、就業時間の変更などをおこなっている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、代表者自身や管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間スケジュールに基づき施設内研修を実施し施設外研修は、職員のレベルにあった研修に参加させている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	意見の交換などを行っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	安全な歩行方法や耳の聞こえない利用者でも楽しめるレクリエーション		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ちょっとしたことでも、家族に連絡、報告するようにしている		
17		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	掃除や茶碗拭き、洗濯物干しを一緒におこなっている		
18		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	お盆やお正月など、家族と一緒に時間を過ごせるように声掛けをおこなっている		
19	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	なじみの方がいつでも面会にこれるように家族をとおしてお願いしています	家族の面会を利用者は喜んでおり、家族との関係継続に配慮した支援ができるよう努めています。家族から情報を得る等して柔軟に対応できるよう検討されています。	
20		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	席の配慮や集まりやすいホールづくり		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院時等はこまめに面会、家族との連絡をとっている		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
22	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員が出来ることは職員が行い、出来ないところは家族にお願いしている	家族の面会時や入浴時の会話、日々の関わりの中から意向の把握に努めています。職員間で日常の様子に気を配り、情報を共有しています。	
23		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に使用していたものや、仏壇等を持ってきてもらうようにしている。野菜作り		
24		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	現状維持ができるように、いろいろな方法をためしている		
25	(10)	○チームでつくる介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	面会時等に本人や家族と話し合い、職員は書式にて意見を出し合っている	職員の気づきや課題をカンファレンスで話し合い、現状に沿った介護計画を作成しています。	介護計画の見直しやモニタリングに活用できるよう、記録の仕方に工夫されることを期待します。
26		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日中、夜間の様子をできるだけ詳しく記録するようにしている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入居前の生活をシートを活用して把握するようにしている		
28	(11)	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医は変更せず、薬局は家族に了解をもらい変更。薬局を一箇所にすることで関係が築けている	入居前からの利用者それぞれのかかりつけ医で継続して受診されており、職員が通院介助されています。	
29		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師はいません		
30		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は連携室をとおして情報の共有を行っている		
31	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	そういうドクターがほしいです	医師の確保ができないため、ホームでの看取りに対応されておりません。市の取り組み等、情報を収集し、終末期の支援ができる体制づくりを検討されています。	
32		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時に対応できる職員が少なく、対応が管理者になっている		
33	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域のかたに協力してもらい年2回の避難訓練の実施	周辺に民家がなく、災害時の協力が得難い環境にあるため、隣接する法人施設間で協力体制がとられています。水害時の対応を取り決めており、指定避難場所への移動訓練を実施しています。	緊急時にスムーズに非常口が使用できるように、鍵の保管場所と解錠操作を全職員に周知されることを期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
34	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者の立場に立ったケアを心がけているが、口調のあらい職員もいる。その都度、指導はしている	親しみを込めながらも年長者に対する言葉遣いに配慮し、その人を尊重した対応を心がけています。	
35		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定力に応じ、選択方式などの方法をとっている		
36		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴等も気が進まないときは、次の日にしたりしている		
37		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	居室に鏡の準備や衣類のコーディネートと一緒にしている		
38	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	月に一回の外食と行事食、もやしのひげ根とりや片づけと一緒にしている。	台所で食事の準備をしたり椅子に座って下ごしらえをしたり等、できることをしていただいて利用者の力が活かされています。外食を取り入れ、プランターで野菜を育てて食べることに楽しみに繋げています。	
39		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日5回の水分補給、一人ひとりに合わせた食事の量を提供している		
40		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は洗面所で口腔ケアをしている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレで排便、排尿している。トイレの間隔をみて声掛けをしている	排泄用品を使用されている方もありますが、布パンツのみの方もあり、全員トイレで排泄されています。	
42		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝、ヨーグルトとおやつ前に体操、野菜の多い食事を提供している		
43	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴の曜日、時間は決められているが、気が進まないときや、体調の悪いときは別の日にしている。ゆっくり入浴してもらえるように、一人一時間の入浴時間をもうけている	週2回、夏季には週3回入浴されています。拒否される方もなく、ゆっくり入浴できるよう支援されており、利用者の思いが聞ける良い機会となっています。	
44		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	休憩中は無理に起こしたりせず、過ごしてもらっている		
45		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	与薬一覧表などを作成し、職員全員がわかるようにしている。		
46		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	歌担当、食事の前のおしぼり担当、カーテンを閉める担当等、役割分担している		
47	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩に出かけたりしている	日常的に散歩をされている他、外食や紅葉狩り、地域の行事等で外出の機会をつくっています。ホームが田んぼに囲まれており、玄関前にベンチを置いて作業する人を眺め、外気浴されています。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	少額のお金を管理し、自動販売機でコーヒーを購入。外出時は基本的に職員が管理している。外出時、一人ひとりにお金を渡し買い物の支援をしたいと思っている		
49		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は職員がかけ利用者につながるようにしているハガキや切手の購入、ポストへの投函の支援をしている		
50	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節を感じられる装飾。広々としたホール。温度湿度の管理。共同スペースの入り口にプレートを設置している	天井の高い開放感のある造りで空気清浄機を数台配置し清潔に管理され、色調が統一されて刺激を取り除く環境に配慮されています。広いホールに自由に過ごせる場所が確保されています。	
51		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	広いホールの中で一人で過ごせる場所と利用者同士で過ごせる場所を作っている		
52	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベットとタンス以外は今まで自宅で使用していたものを持ってきてもらっている	各部屋には収納スペースが設置されています。持ち物の少ない方もありますが、位牌や椅子を持ち込んでいる方もあり、それぞれの生活の場とされています。	
53		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホールが広いこともあり、歩行状態は安定している。居室の入り口に目印をつける等の工夫をしている		